

鉢物栽培 I

講師名	千葉 賢一	実務経験等	農業改良普及センター・農業研究センターでの普及指導員・専門研究員としての経験を活かし、岩手県の主要な鉢花品目の良品生産に必要な生理・生態や基本的栽培技術を理解するための講義を担当している。
-----	-------	-------	--

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
農産園芸学科・専門科目	農産園芸・花き	必修	1年	通年	60	4
使用教科書・副教材	【農学基礎セミナー】草花栽培の基礎 令和2年度岩手県花き栽培技術指針					
授業の目的	鉢物栽培に関する基本的な用語、生理・生態、栽培施設、用具・資材などとともに、繁殖方法、開花調節技術、品質向上技術、植物成長調節剤の利用などについての知識を習得する。					
授業の到達目標	岩手県の主要品目である鉢物リンドウやシクラメン、花壇苗などの基本的な栽培技術が理解できる。					

月日	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
5月14日	鉢物、苗物生産の特色	鉢物生産の特色について理解する。	2	講義	
5月21日	鉢物、苗物の育苗技術①	鉢物、苗物生産の育苗技術について理解する。	2	講義	
6月3日	鉢物、苗物の育苗技術②	鉢物、苗物生産の育苗技術について理解する。	2	講義	
6月17日	鉢物生産の資材	鉢物生産に必要な鉢や用土、肥料等、資材の種類と利用について理解する。	2	講義	
6月18日	鉢物のかん水技術①	鉢物生産におけるかん水技術について理解する。	2	講義	
6月23日	鉢物のかん水技術②	鉢物生産におけるかん水技術について理解する。	2	講義	
7月8日	植物成長調節技術と開花調節技術①	植物成長調節技術や開花調節技術について理解する。	2	講義	
8月21日	植物成長調節技術と開花調節技術②	植物成長調節技術や開花調節技術について理解する。	2	講義	
8月28日	植物成長調節技術と開花調節技術③	植物成長調節技術や開花調節技術について理解する。	2	講義	
9月4日	植物成長調節技術と開花調節技術④	植物成長調節技術や開花調節技術について理解する。	2	講義	
9月12日	鉢物利用の実際	鉢物利用の実際を学ぶ。	4	事例 研究	
10月2日	大型施設による鉢物生産の実際	大型施設による大規模鉢物生産の経営事例を学ぶ。	4	事例 研究	レポート
10月22日	鉢物の肥培管理技術①	鉢物生産における肥培管理技術について理解する。	2	講義	
11月5日	鉢物の肥培管理技術②	鉢物生産における肥培管理技術について理解する。	2	講義	
11月9日	鉢物リンドウの栽培技術①	鉢物リンドウの特性と栽培技術について理解する。	2	講義	
11月20日	鉢物の流通や販売の概要	事例研究で学んだ事項の整理と復習する。	2	講義	
12月7日	鉢物リンドウの栽培技術②	鉢物リンドウの特性と栽培技術について理解する。	2	講義	
12月17日	シクラメンの栽培技術①	シクラメンの特性と栽培技術について理解する。	2	講義	
1月18日	シクラメンの栽培技術②	シクラメンの特性と栽培技術について理解する。	2	講義	
1月21日	プリムラ類の栽培技術①	プリムラ類の特性と栽培技術について理解する。	2	講義	
1月22日	花壇苗の栽培技術①	花壇苗の特性と栽培を理解する。	2	講義	
1月27日	花壇苗の栽培技術②	花壇苗の品目、栽培体系を理解する。	2	講義	
1月29日	学習内容のまとめ①	これまでに学んだ内容について総括的な復習を行う。	2	講義	
2月15日	学習内容のまとめ②	これまでに学んだ内容について総括的な復習を行う。	2	講義	
2月18日	学習内容のまとめ③	これまでに学んだ内容について総括的な復習を行う。	4	講義	
2月19日	学習内容のまとめ④	これまでに学んだ内容について総括的な復習を行う。	4	講義	
		合計	60	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

前期と後期に筆記試験を実施する。
評価割合は、筆記試験、レポート70%、平常点30%(小テスト、学習態度、出席状況)として行う。

履修に当たっての留意点等

受講に際しては、事前に教科書、参考書等に目を通しておくことが望ましい。講義は基本的に教科書に沿って行うが、花きの生育状況や天候等により、学習項目の変更や専攻実習などの講義と置き換わる場合があるため、注意すること。